# 安全データシート

## 4-フェニルフェノール

改訂日：2024-01-24 版番号：1

## 1. 化学品及び会社情報

### 製品識別子

| | |
|---|---|
| 製品名 | : 4-フェニルフェノール |
| CB番号 | : CB8197379 |
| CAS | : 92-69-3 |
| EINECS番号 | : 202-179-2 |
| 同義語 | : 4-フェニルフェノール,フェニルフェノール |

### 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

| | |
|---|---|
| 関連する特定用途 | : 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。 |
| 推奨されない用途 | : なし |

### 会社ID

| | |
|---|---|
| 会社名 | ： Chemicalbook |
| 住所 | ： 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟 |
| 電話 | ： 010-86108875 |

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1 GHS分類

皮膚感作性 (細区分1B), H317

水生環境有害性 短期（急性） (区分2), H401

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

水生環境有害性 長期（慢性） (区分2), H411

皮膚腐食性 / 刺激性 (区分2), H315

### 2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

**絵表示**

| | |
|---|---|
| GHS07 | GHS09 |

**注意喚起語**

警告

**危険有害性情報**

H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H315 皮膚刺激。

**注意書き**

**安全対策**

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋を着用すること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P261 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。

**応急措置**

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断 / 手当てを受けること。

P391 漏出物を回収すること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

**廃棄**

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

### 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

| | |
|---|---|
| 化学物質・混合物の区別 | : 化学物質 |
| 別名 | : 4-Hydroxybiphenyl |
| 化学特性(示性式、構造式 等） | : C12H10O |
| 分子量 | : 170.21 g/mol |
| CAS番号 | : 92-69-3 |
| EC番号 | : 202-179-2 |
| 化審法官報公示番号 | : 4-19 |
| 安衛法官報公示番号 | : - |

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

**一般的アドバイス**

この安全データシートを担当医に見せる。

**吸入した場合**

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

**皮膚に付着した場合**

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 医師に相談する。

**眼に入った場合**

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。 コンタクトレンズをはずす。

**飲み込んだ場合**

飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

**使ってはならない消火剤**

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

**適切な消火剤**

水 泡 二酸化炭素（CO2） 粉末

### 5.2 特有の危険有害性

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

可燃性。

蒸気は空気より重く、床に沿って広がることがある。

分解生成物の本質は不明である。

### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

### 5.4 詳細情報

消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: ほこりを吸い込まないこと。 触れないようにすること。 十分な換気を確保する。 危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。 物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 乾燥剤で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。ほこりを生じないようにすること。

### 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

注意事項は項目2.2を参照。

### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

**保管クラス**

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 13: 否可燃性固体

**保管条件**

密閉のこと。 乾燥。

### 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1 管理濃度

**コンポーネント別作業環境測定パラメータ**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

### 8.2 曝露防止

**適切な技術的管理**

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

**保護具**

**眼 / 顔面の保護**

NIOSH（US）またはEN 166（EU）などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。 保護眼鏡

**皮膚及び身体の保護具**

手袋を着用して取扱う。 使用前に、必ず手袋を検査する。 （手袋外面に触れずに）適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。 適用法令およびGLPに従い、使用後に汚染手袋を廃棄する。 手を洗い、乾燥させる。

選ばれた防護手袋は、EU指令2016/425の仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。

フルコンタクト

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質：Dermatril® (KCL 740 / Aldrich Z677272, Size M)

飛沫への接触

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質：Dermatril® (KCL 740 / Aldrich Z677272, Size M)

データソース：KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, 電話 +49 (0)6659 87300, e-mail sales@kcl.de,

試験方法： EN374

EN374とは違った条件の下で、溶液の中、または他の物質と混ぜて使われる場合は、EC認可手袋の供給業者に問い合わせる。 この勧告は単なる助言であり、予想される用途の特定状況に精通した産業衛生専門家並びに安全管理者により評価されなければならない。 任意の使用方法について許可を受けていると理解すべきではない。

**身体の保護**

保護衣

**呼吸用保護具**

ほこりが生じた際に必要。

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387および使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

**環境暴露の制御**

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

---

# 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

| | |
|---|---|
| 外観 | 形状: フレーク色: 白色 |
| 臭い | データなし |
| 臭いのしきい(閾)値 | データなし |
| pH | データなし |
| 融点 / 凝固点 | 融点/ 範囲: 164 - 166 °C - lit. |
| 沸点，初留点及び沸騰範囲 | 321 °C - lit. |
| 引火点 | 160 °C - 密閉式引火点試験 |
| 蒸発速度 | データなし |
| 可燃性（固体、気体） | 自然引火性ではない。 - 理事会規則 (EC) No. 440/2008,付属書, A.10 |
| 引火上限/下限または爆発限界 | データなし |
| 蒸気圧 | 約26,000 hPa at 約25 °C - OECD 試験ガイドライン 104 |
| 蒸気密度 | データなし |
| 密度 | 1.28 gPcm3 at 20 °C - OECD 試験ガイドライン 109 |
| 比重 | データなし |
| 水溶性 | 0.048 grm/l - OECD 試験ガイドライン 105- 僅かに溶ける |
| n-オクタノール / 水分 | log Pow: 約3.6 at 25 °C - OECD 試験ガイドライン 107 - 生物濃縮は予 |
| 配係数（log 値） | 測されない。 |
| 自然発火温度 | 167 °C- 理事会規則 (EC) No. 440/2008,付属書, A.16 |
| 分解温度 | データなし |
| 粘度 | 動粘度（動粘性率）: データなし粘度(粘性率): データなし |

| | |
|---|---|
| 爆発特性 | データなし |
| 酸化特性 | なし |
| 表面張力 | 62.4 mN/m at 20 °C<br>- OECD 試験ガイドライン 115 |
| 解離定数 | 約9.5 at 20 °C |

### 9.2 その他の安全情報

**表面張力**

62.4 mN/m at 20 °C

- OECD 試験ガイドライン 115

**解離定数**

約9.5 at 20 °C

---

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

引火点より下のおよそ15ケルビンからの範囲は危険とみなされている。

通常想定される。

可燃性有機物質及び製剤に概ね該当：微細に分散し、舞い上がった場合、粉じん爆発を起こす可能性が

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

強塩基類

強酸化剤

次と激しく反応

### 10.4 避けるべき条件

強力な熱

### 10.5 混触危険物質

データなし

### 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

**急性毒性**

LD50 経口 - ラット - オス - > 5,000 mg/kg

経皮: データなし

吸入: データなし

(OECD 試験ガイドライン 401)

**皮膚腐食性 / 刺激性**

結果: 刺激性あり - 24 h

備考: (ECHA)

皮膚 - ウサギ

**眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性**

結果: 眼への刺激なし

(OECD 試験ガイドライン 405)

眼 - ウサギ

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

結果: 感作を起こす。

(OECD 試験ガイドライン 429)

局所リンパ節増殖試験（LLNA） - マウス

**生殖細胞変異原性**

テストシステム: リンパ球

方法: OECD 試験ガイドライン 473

試験タイプ: Ames 試験

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

方法: OECD 試験ガイドライン 471

結果: 陰性

テストシステム: ネズミチフス菌（S. typhimurium）

結果: 陰性

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

試験タイプ: in vitro染色体異常試験

**発がん性**

データなし

**生殖毒性**

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データなし

データなし

**誤えん有害性**

データなし

### 11.2 追加情報

RTECS: DV5850000

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

**魚毒性**

止水式試験 LC50 - Oryzias latipes (オレンジレッドカダヤシ) - 4.27 mg/l -

48 h

備考: (ECHA)

**ミジンコ等の水生無脊**

EC50 - Daphnia magna (オオミジンコ) - 3.66 mg/l - 48 h

**椎動物に対する毒性**

備考: (ECOTOX データベース)

**藻類に対する毒性**

EC50 - Pseudokirchneriella subcapitata - 2.8 mg/l - 72 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

**微生物毒性**

- 活性汚泥 - 149 mg/l - 3 h

備考: (ECHA)

### 12.2 残留性・分解性

データなし

### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壌中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

**製品**

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号

ADR/RID （陸上規制）: 3077　IMDG （海上規制）: 3077　IATA-DGR （航空規制）: 3077

### 14.2 国連輸送名

ADR/RID （陸上規制）: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (p-フェニ

ルフェノール)

(biphenyl-4-ol)

IATA-DGR （航空規制）: Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s. (biphenyl-4-ol)

IMDG （海上規制）: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.

### 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID （陸上規制）: 9　IMDG （海上規制）: 9　IATA-DGR （航空規制）: 9

### 14.4 容器等級

ADR/RID （陸上規制）: III IMDG （海上規制）: III IATA-DGR （航空規制）: III

### 14.5 環境危険有害性

該当

ADR/RID: 該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR （航空規制）: 該当

### 14.6 特別の安全対策

### 14.7 混触危険物質

詳細情報

ジ

EHSマーク(ADR 2.2.9.1.10, IMDGコード 2.10.3)5 kg / L 以下で、危険物クラス 9 に該当しないパッケー

危険物（液体 >5Lまたは固体 >5kg）を有する内装容器を含む、単一容器および複合容器に必要とされる

---

## 15. 適用法令

### 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

**国内適用法令**

**消防法:**

危険物に該当しない。

**毒物及び劇物取締法:**

非該当

**労働安全衛生法**

**特定化学物質障害予防規則:**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則:**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物:**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物:**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法:**

非該当

---

## 16. その他の情報

## 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

IATA：国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LD50: 致死量 50%

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LC50: 致死濃度 50%

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

## 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp

【2】化学物質審査規制法（化審法）https://www.env.go.jp

【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） https://www.chemicoco.env.go.jp

【4】NITE化学物質総合情報提供システム （NITE-CHRIP）https://www.nite.go.jp/

【5】カメオケミカルズ公式サイト http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple

【6】ChemIDplus、ウェブサイト http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト https://echa.europa.eu/

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイトhttp://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイトhttp://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイトhttp://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト http://www.iarc.fr/

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイトhttp://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト https://www.sigmaaldrich.com/

**免責事項：**
本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。